

車いすに乗って冬の旭山でペンギンの散歩を楽しみたい

冬の旭山動物園安心マップづくり

カムイ大雪バリアフリー推進協議会

(事務局 NPO カムイ大雪バリアフリー研究所)

これまでの経緯

車いすやベビーカーの利用者、高れい者など歩行困難者への
段差や坂道勾配におけるパーソナルバリアフリー

それぞれの対応が異なる「パーソナルバリアフリー」の取り組み

身近に存在する同じバリアでも、その対応は100人百様、千差万別のバリアフリー
行きたい所への経路上で、所々に存在するバリアを超えられるかは、自分たちが備える
対応力とそこへ行きたい思いの強さが大きく関係しています。

「冬の旭山に行ってペンギンの散歩を見てきたい」

車いす利用者、高れい者や歩行困難な人たちが旭川空港や JR 旭川駅などからバスや
タクシー、あるいは自家用車で旭山動物園に行き、お目当てのペンギンの散歩に巡り合
うまでのバリアとその対応はどんなでしょう。

例えば車いす利用者と言っても、動きやすい専用の車いすを扱う頑強な若者と、歩き
慣れない外出先で車いすを借りて介助してもらおう高れい者では、同じ勾配や距離の坂道
でも行きつける地点やかかる時間が違う、あるいはたどり着くのが難しく不可能な場合
もあります。

旭川では障がい当事者スタッフが主体になって取り組みます

私たち旭川の産学官民連携まちづくりチーム「カムイ大雪バリアフリー推進協議会」
のメインスタッフは地域で共に暮らす元気な障がい当事者の人たちです。

自分自身にある障がいを前面に掲げ、アクティブにまちづくりに参加する「車いす紅
蓮隊」とその仲間たちが自らバリア調査を行い、「パーソナルバリアフリー基準」に沿
って、同じバリア事例への対応として関わるメンバー個々の体験に基づき異なる複数の
対応策を提案することになっています。

数年前から「車いす紅蓮隊」とその仲間たちが一緒に取り組んでいる「あさひかわ雪
あかり」のバリアフリー推進の実績から、築堤や河川敷のフィールドを利用して企画制
作される「旭川冬まつり」の ICT バリアフリーマップの制作協力を依頼されました。



<http://www.kamui-daisetsu.org/map.html>

ここでは北国特有の雪を利用して段差や坂道のバリアを簡易に克服するハード整備と共に、一般の人たちには苦もない歩道なのに「車いす利用ではたどり着けない坂道勾配のバリア」などを Web でお知らせすることで事前に知っておいてもらう。あるいは現地でモバイル向けにナビゲーションする ICT バリアフリーマップの整備を新たに計画しています。

平面的な地図では目的地はすぐなのに、現実には異り勾配で人によっては大きく迂回しなければたどり着けないことがある。それは、観光地やイベントで配られるマップでは知ることができない「経路の段差や坂道勾配とその移動距離」に関係しています。

現地でスマートフォンなどの端末を利用して自身の居場所を知ってもらい、ICT バリアフリーマップで周囲に存在する段差や坂道勾配などのバリア、行きたい所への安全な経路やその移動距離などを可能な限りお知らせすることで、安心して楽しめるまちづくりや観光振興に役立てられるよう計画しました。

※参考1 これまでの取り組み状況の写真

北海道旭川は積雪寒冷で雪があるからこそ創意工夫のバリアフリー化が容易です



旭川冬まつりでは車いすに乗ったまま高さ20mの大雪像に設ける展望テラスまで昇り、冬まつり会場の全体を眺めることができます。

およそ100mで10mの高さに向かう昇り10%勾配の坂道は大雪像と同じように雪を固めて造られます。積雪寒冷の冬だからこそ、夏はバリアだらけの河原に道路で余される雪を巧く利用するバリアフリーな祭りが繰り広げられ、

足が不自由な障がい者や高れい者も一緒に楽しむコミュニケーション広場が創られます。

※これまでの取り組みのURL

・車いすを利用して旭川空港周囲の公園を楽しむ：ブログ

<http://kurumaisugurentai.net/?p=8371>

・旭山動物園を車いすで楽しむ：ブログ

<http://kurumaisugurentai.net/?p=5872>

・快適 AQURO(車いす)で冬の旭山動物園を楽しむ：ブログ

<http://kurumaisugurentai.net/?p=4172>

・車いすで旭川冬まつりの雪を楽しむ旅行者：ブログ

<http://kurumaisugurentai.net/?p=1015>

冬の旭山動物園安心マップづくり

車いすに乗って冬の旭山でペンギンの散歩を楽しみたい

このような中、国土交通省の「平成 24 年度ユニバーサル社会に対応した歩行者移動支援に関する現地事業」の実施箇所として採択され、歩行者の利用ルートへのデータベース化（歩行空間ネットワークデータ）と、それを用いた最適な経路を案内する機能およびバリアフリー情報を掲載した観光情報等の閲覧を可能としたシステム「冬の旭山動物園安心マップ」の構築を進めてきました。「カムイ大雪バリアフリー推進協議会」において多様な検討を重ねてまいりましたが、平成25年2月6日より試験運用を開始しています。さらに雪解け後には雪のない夏バージョンを構築し、7月ころには夏・冬二期それぞれを公開可能にし、本格運用を始める予定です。

テーマ 積雪寒冷地における都市拠点と旭山動物園を結ぶ歩行者移動支援サービス
サービスの対象範囲 北海道旭川市 旭川空港・JR 旭川駅・旭山動物園周辺



【情報提供の対象者】

高れい者、障がい者、妊産婦、子連れベビーカー等の介助者も含む来園者



寒冷期の歩行困難による低体温化など不測の事態を回避できる安全な逃げ場(シェルター)案内、現地バリアフリー情報の事前紹介、シームレスな徒歩移動経路の案内、周辺の観光情報を提供します。

「冬の旭山動物園安心マップ」は専用のQRコードかURLを直接入力して利用できます。このQRコードとURLは「カムイ大雪バリアフリー推進協議会」の構成機関や団体等を通じてWeb等で公開することになっています。また、日本バリアフリー観光推進機構加盟の全国の団体・機関からも紹介してもらうようにしています。

冬の旭山でペンギンの散歩をみよう

旭川駅・旭川空港・旭山動物園のバリアフリー情報がご覧いただけます



バリアフリー情報

 宿泊BF情報 |  物販BF情報 |  観光BF情報 |  飲食BF情報 |  トイレBF情報

ご意見・お問合せ

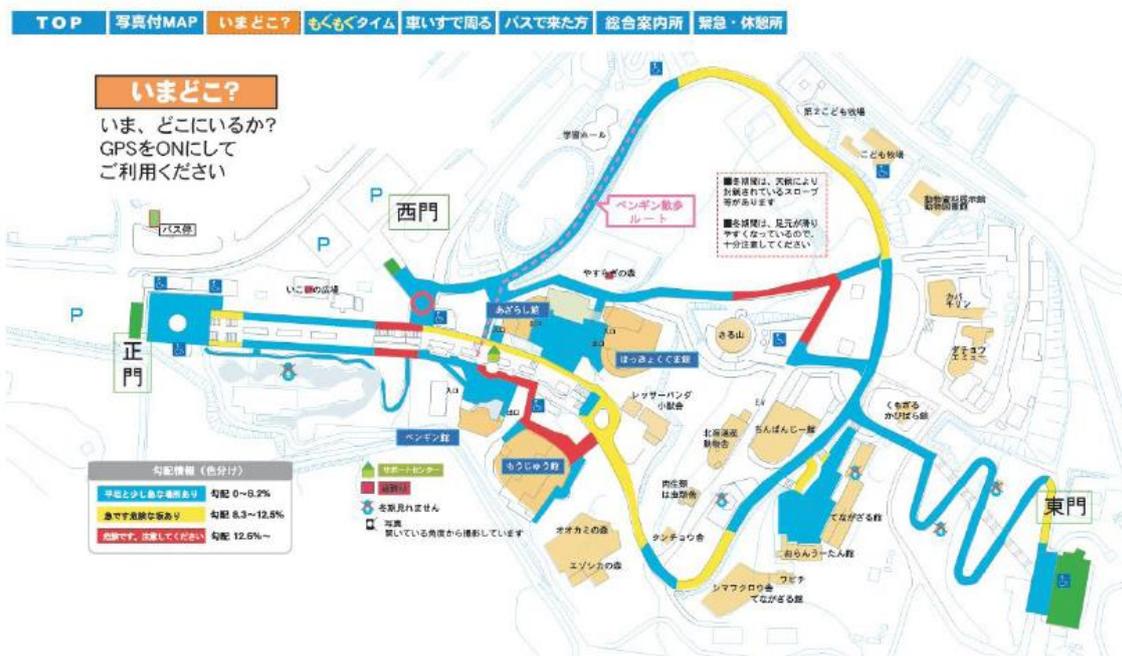
このマップを利用される間は、GPS、WiFiから取得する位置情報が常にマップ上に表示されます。同様に、西門入口はじめ、各ゲート、トイレやホットステーションに設置する予定のQRコードから位置情報を取得し、情報サービスを受けられるようにしています。

このように、周辺に存在するバリアを明確にすることで、車いす利用者ら障がい当事者から自身に合った十人十色のパーソナルバリアフリープランが提案され、歩行空間ネットワークデータを活用することで、個人の身体状況に応じた経路案内及び注意喚起、食事やおみやげの案内など、地域特有の情報サービスを提供します。

現地で、目的地までスマートフォンを利用してナビゲートする場合は



降積雪、凍結路面で悩まされるこの冬も快適に移動できるよう、「歩行空間ネットワークデータ整備仕様案 平成22年9月 国土交通省」に基づき、歩行空間の通行注意箇所や主要な観光施設等のバリアフリー現況、坂道勾配や段差を現地調査して、歩行空間ネットワークデータ（ノード数454、リンク数225）を構築し、これに基づいて約500枚の静止画と20の動画でバリアフリー情報を提供し、安心な誘導をしています。



積雪・凍結路面のこの冬は、夏とは移動環境が極端に違うことから構築した「歩行空間ネットワークデータ」にさらに動物園ボランティアや観光ボランティアなどによる人的支援のソフト策を組合す安心安全なバリアフリー誘導を行うことにしています。



冬季お薦めの西門バリアフリールート 西門から間近なサポートセンターなど

冬期間は降雪、積雪、凍結路面などで歩行環境が悪く、西門からぺんぎん館、あざらし館、ほっきょくくま館と、それぞれ低い入り口から入って行動展示を楽しみながら、二階の出口へはエレベーターで移動するお薦めバリアフリールートが設定されています。お楽しみのぺんぎんの散歩やもうじゅう館は、屋外から楽しんでもらう構造なので、寒さからの低体温症を防ぐためにも一息つけるホットステーションや看護師が常駐するサポートセンターを案内しています。また、呼出コールがついているトイレ・洗面も表示しています。

カムイ大雪バリアフリー推進協議会のメインスタッフは地域で共に活動する障がい当事者の仲間たちです。

障がい当事者スタッフ主動で進めています



現地の現況調査
段差・勾配からルートを考えます

現地の現況を参考に
施設管理者と打ち合わせ



施設調査



車いすやベビーカーの利用、高れい者や杖の利用者、
内部疾患等、広い範囲で仲間たちと一緒に考えます



協議会の開催

障がいの異なるメンバーそれぞれが自ら現場に出向いて聴き取り調査し、一緒に検討して新しい効果を地域内外の仲間たちと共創しています。



冬まつりの
準備会等で
取り組みをPR

冬まつり本番等の
対象者が集まるイベントで
チラシを配布して説明



空港、JR駅、観光案内所
動物園ほかでポスター掲示

旅に不安を持つ人たちにバリアフリー観光を具現化してもらうには事前の安心安全情報を提供することが必須です。

このように、構築した「歩行空間ネットワークデータ」を活用して、国内外のWebからもこのバリアフリー観光情報を事前にいつでも閲覧できるようにしました。

また、トップページのメニュー最下端には「ご意見・お問い合わせ」欄を設けて、新たに使えるトイレ情報や、気づき、発見した地域のバリア情報などを知らせてもらい、障がい当事者が主体になってバリアフリー情報を検討加工し、新たな更新情報として発信できるようにしています。



寄せられる発見情報をもとに整理更新される
バリアフリーストイレマップ

懸案だった冬期間の積雪・凍結路面での安全な誘導について関係者と一体で継続して取り組んだ「冬の旭山で車いすに乗ってぺんぎんの散歩を見よう」ですが、近づく春の訪れとともに雪が無くなり次第、施設内移動サポートバスなどの利用向上も盛り込みながらフルシーズンで安心安全なバリアフリー観光をお楽しみいただけるよう、今後はより近隣の観光関連事業者の参画を得ながら、さらに事業を自主継続しますので、ご指導賜りますようよろしくお願いいたします。

お問い合わせ窓口	カムイ大雪バリアフリー推進協議会 事務局 〒078-8368 旭川市東旭川町旭正 315-2 特定非営利活動法人カムイ大雪バリアフリー研究所気付 総務統括 吉田 浩 電話 0166-38-8200 kamuidaisetsu@sc-kamui.co.jp
----------	---